

大阪・関西万博開催に向けた意見

御所属 関西広域連合委員 鳥取県知事 御名前 平井 伸治 様

1. 2025年の大阪・関西万博に何を期待しますか。

(是非するべきこと、また、するべきではないこと、後世に残すべきもの等)

(1) 関西全域の顔が見える万博に

- 「関西」を世界にPRする絶好の機会であり、万博参加国はもとより全世界への関西PRをしっかりと行い、関西全域にその開催効果を行き渡らせるべきであること。

(2) 関西が有する世界共通の価値観（多様で心身共に健康な生き方、持続可能な社会・経済システム）を発信

- 関西は、自然豊かな子育て環境や悠久の歴史と文化、さらには魅力的なビジネス環境など、人が「本当の豊かさを感じながら生きていく」ことができる万国共通の価値観を体現した圏域。万博開催を契機として、これら価値観を世界に大いに発信すべきであること。

(3) 関西の観光資源や固有技術（先端技術等）を発信

- 関西が有する豊富かつバラエティに富んだ観光資源、世界をリードしうる先端・伝統技術をしっかりと発信しながら、観光・産業分野における新たな人的・ビジネス交流のきっかけとすべきであること。
 - ・ 観光分野においては、2019年のラグビーワールドカップに始まり、2020年東京オリパラから万博開催までの継続した国際的イベントを、インバウンド需要につなげていくためには関西全体で長期的な取組が必要。
 - ・ 産業分野においても、関西の先端技術や伝統技術に光があたり、モノづくり現場や最先端技術を備えた工場などを対象とした産業ツーリズムのほか、世界の各種課題解決につながるような新たな投資、ビジネスチャンスに繋がることを期待したい。

2. 大阪・関西万博で見せるべきコンテンツは何でしょうか。

(例：最先端技術の実証、SDGs達成への貢献、ライフサイエンス分野との連携等)

大阪・関西万博テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」の実現に向け、提供・貢献できる主なコンテンツは以下のとおり。

(1) 日本食の起源「関西の食と食文化」

- ・ 世界に誇る高品質な農林水産物（肉質日本一の鳥取和牛、蟹取県、森のダイヤ「鳥取茸王」、令和の銘柄米「星空舞」）
- ・ 日本の歴史を辿る「関西の食文化」（京料理、茶、日本酒（酒米強力）、各地の郷土料理） 等

(2) 自然・文化などバラエティ溢れる観光資源

- ・ 豊かな自然環境をフィールドとした観光資源（山陰海岸ジオパーク、星空、水資源）
- ・ 海外で人気を博するサブカルチャーの聖地（マンガ王国とっとり）
- ・ 日本の原風景を体感できる滞在型観光（ファームステイ）
- ・ 関西文化ルートの構築（鳥取県立美術館開館を契機とした美術館周遊） 等

(3) ライフサイエンス分野との連携が可能な先端技術

- ・ 抗体医薬品開発に貢献する染色体工学技術（とっとりバイオフロンティアで開発）
- ・ カニ殻由来のキッチンナノファイバー（機能性食品開発に有効性を示す）
- ・ 豊かな食を生み出す育種技術（梨・柿・和牛）
- ・ 安全安心で資源保護を促す陸上養殖 等

3. 会場計画及びインフラ整備について、新たなアイデアや御意見をお願いします。

（例：会場のデザイン、水面や緑地の利活用、待ち時間のない万博とするための手法、災害対策、暑さ対策等）

(1) 既存交通インフラ（陸・海・空）活用による海外受入体制の強化

- ・ 既存国際空港（関西国際空港、米子空港等）の活用
- ・ 既存国際航路（大阪、神戸、境港等）の活用
- ・ 本会場アクセス強化に向けた国内二次交通（陸上、海上交通）の活用と充実

(2) 関西圏域における特別周遊パス発行による域内周遊の促進

(3) 関西広域連合構成各府県へのサテライト会場の設置

- ・ 大阪メイン会場と連動した「バーチャル会場」としてサテライト会場を設置し、各地域の観光資源・文化などを発信
- ・ 大阪メイン会場やサテライト会場への地域素材（国産材、食等）・技術の活用

以上